

A S C A センゴクジャパン A B C 級水泳競技大会

2023年3月4日(土)~3月5日(日) 春日井市温水プール(50m)

順位	氏名	チーム名	学年	タイム	判定	PB
No.6 男子 中学生以上 100m 背泳ぎ T決勝						
19位	西脇 尚	1toSWIM	中2	1:12.26	A級	

No.9 女子 中学生以上 50m 自由形 T決勝						
57位	平山 桃	1toSWIM	高3	31.94	A級	

No.10 男子 中学生以上 50m 自由形 T決勝						
37位	則竹 凱成	1toSWIM	中2	28.13	A級	
47位	西脇 尚	1toSWIM	中2	28.64	A級	
	石川 欧亮	1toSWIM	中1	棄権		-
	則竹 琉成	1toSWIM	高2	棄権		-

No.22 男子 中学生以上 100m 自由形 T決勝						
40位	則竹 凱成	1toSWIM	中2	1:02.41	A級	
	石川 欧亮	1toSWIM	中1	棄権		-
	則竹 琉成	1toSWIM	高2	棄権		-

No.33 女子 小学生 200m 自由形 T決勝						
1位	丹所 潤瑠	1toSWIM	小5	2:17.92	A級	

No.35 女子 小学生 50m 平泳ぎ T決勝						
81位	小栗 苺果	1toSWIM	小4	50.64	B級	

No.36 男子 小学生 50m 平泳ぎ T決勝						
62位	今尾 隼也	1toSWIM	小6	47.11	C級	
121位	神田 明人	1toSWIM	小1	56.52	B級	
138位	安部 泰成	1toSWIM	小2	1:00.38	B級	

No.37 女子 小学生 50m 自由形 T決勝						
3位	丹所 潤瑠	1toSWIM	小5	29.48	A級	
69位	新田 紗良	1toSWIM	小6	34.24	A級	
71位	安東 莉結	1toSWIM	小4	34.59	A級	
144位	小栗 苺果	1toSWIM	小4	38.67	A級	

No.38 男子 小学生 50m 自由形 T決勝						
25位	山下 樟	1toSWIM	小4	31.49	A級	
102位	今尾 隼也	1toSWIM	小6	35.06	B級	
109位	藤田 幸希	1toSWIM	小4	35.33	A級	
141位	安部 誠真	1toSWIM	小4	37.70	A級	
192位	神田 明人	1toSWIM	小1	41.58	A級	
223位	安部 泰成	1toSWIM	小2	44.69	B級	
	石川 稜真	1toSWIM	小4	棄権		-

No.39 女子 小学生 50m バタフライ T決勝						
82位	小栗 苺果	1toSWIM	小4	42.22	B級	

No.40 男子 小学生 50m バタフライ T決勝						
80位	今尾 隼也	1toSWIM	小6	42.75	C級	
106位	安部 誠真	1toSWIM	小4	49.88	C級	
	石川 稜真	1toSWIM	小4	棄権		-

No.41 女子 小学生 50m 背泳ぎ T決勝						
55位	安東 莉結	1toSWIM	小4	42.36	A級	

No.42 男子 小学生 50m 背泳ぎ T決勝						
89位	神田 明人	1toSWIM	小1	51.07	B級	

No.43 女子 小学生 200m 個人メドレー T決勝						
19位	新田 紗良	1toSWIM	小6	3:06.63	A級	

No.44 男子 小学生 200m 個人メドレー T決勝						
43位	藤田 幸希	1toSWIM	小4	3:12.27	A級	
	石川 稜真	1toSWIM	小4	棄権		-

No.47 女子 小学生 100m 自由形 T決勝						
3位	丹所 潤瑠	1toSWIM	小5	1:04.18	A級	
54位	安東 莉結	1toSWIM	小4	1:18.50	A級	
58位	新田 紗良	1toSWIM	小6	1:19.16	B級	

No.48 男子 小学生 100m 自由形 T決勝						
16位	山下 樟	1toSWIM	小4	1:08.30	A級	
58位	藤田 幸希	1toSWIM	小4	1:18.57	A級	

チーム全員で出場するのは、今年度最後の水泳競技会となる「センゴクジャパンABC級」が開催されました。年度末に近いこともあり、愛知県新記録を狙う選手も出場する通常の認定大会よりレベルの高い大会となりました。1toSWIMの選手達も頑張りを見せ、特に選手コースの仲間入りを果たして1年程度の経験の少ない選手たちの頑張りや活躍が目立ちました。

6年生の今尾隼也くんは、最近選手コースの一員となり、練習の中で自分の課題に対して真剣に考える姿勢が素晴らしく、早速結果に表れてきています。何歳からでも、競泳に力を入れるのは遅くないということを証明してくれています。他にも、休まず練習に参加する選手達の成長や、春のJOCには惜しくも出場できませんでしたが、悔しさをバネに頑張る山下樟選手も含めいよいよ楽しみな選手が増えてきました。

中学2年生の西脇尚選手は、このところ背泳ぎに出場するようになりましたが、まだまだ課題が多いだけに、伸び代もたっぷりです。自由形でも記録が大幅に伸びており、中学生のラストイヤーに向けて期待が膨らみます。

年度内、残すは小学生だけが出場できる「オール学童」、そして「春季全国JOCジュニアオリンピックカップ」のみとなりました。JOC出場選手たちは、これから最終調整に向け厳しいトレーニングに入ります。1toSWIMの選手コースは、チーム全員で楽しく&必死に練習し、素晴らしい結果をご報告できるように頑張ります。ご期待下さい!!

報告：加藤